

## 9月21日は世界アルツハイマーデー ～認知症になっても安心して暮らせる社会を～

世界アルツハイマーデーは、認知症への理解を進め、認知症になった人やその家族への施策を充実させることを目的に、1994年、国際アルツハイマー病協会により制定されました。

現在、9月を世界アルツハイマー月間として、世界各国で啓発活動が行われています。この機会に、ぜひ皆さんも認知症について考えてみてください。

### 認知症とは

認知症は、「病気」ではなく、何らかの原因で記憶や認識、判断などの認知機能が低下し、生活に支障をきたしている状態のことです。

認知症の原因で一番多いのが、「アルツハイマー型認知症」であるといわれています。アルツハイマー型認知症では、次のような症状がみられることがあります。

- ・物忘れなどの記憶障害
- ・時間や場所、人物の認識ができなくなる
- ・ものごとを計画立てて順にこなすことが難しくなる
- ・道具の使い方がわからなくなる
- ・計算や言葉の能力の低下

65歳未満で発症した場合は、「若年性認知症」といいます。例えば、「穏やかだったはずなのに、まるで別人のようなふるまいをする」、「料理が得意だった母が料理を作らなくなる」、「職場で約束を守らない、忘れる」などの変化もみられます。

現役世代の人が発症するため、経済的・心理的に本人や家族の生活が困難な状況に陥る可能性があります。気になったら早めに相談してみましょう。

### 認知症の相談先・受診先

「認知症かも」と心配になったら、まずは相談・受診しましょう。かかりつけ医がいる人は、日常の健康管理、身体的な相談を含めて早めに相談を！ かかりつけ医がいない人は、専門の医療機関で認知症の初期相談や受診の相談をすることができます。

#### 【相談先】

「もの忘れ相談室」 ※要予約	益城町社会福祉協議会	214 - 5566
介護や健康など、 さまざまな相談事	東部圏域地域包括支援センター(木山・福田・津森)	289 - 0099
	西部圏域地域包括支援センター(飯野・広安・広安西)	285 - 4822
65歳未満の人の 相談	若年性認知症 コールセンター	080 - 0100 - 2707

#### 【受診先】

認知症疾患医療センター(県の指定を受けた機関) 益城病院 286 - 3611

#### 【認知症初期集中支援チーム】

専門医療機関と福祉専門職とで認知症の人やその家族を訪問し、アドバイスを行います。利用については、地域包括支援センターに相談してください。



支援チームの皆さん

### 町の取り組み

町では、認知症になっても、住み慣れた地域で暮らしていけるよう取り組みを行っています。その一部をご紹介します。

#### 【認知症サポーター養成講座】

小中学校や地域・企業で、認知症サポーター養成講座を開催しています。認知症に関わる活動をしたい人は、下記へお問い合わせください。

#### 【うぐいす通信】

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、外出を控え、自宅で過ごす機会が増えた人に向けて、認知症や健康に関すること、ミニ知識など、さまざまな情報をまとめた広報紙を不定期で発行しています。興味がある人は、下記へお問い合わせください。

☎ 福祉課 包括支援係 ☎ 234 - 6113  
☎ 町社会福祉協議会 ☎ 214 - 5566